

# 曾根小校区危険箇所マップ

◆令和4年度版◆

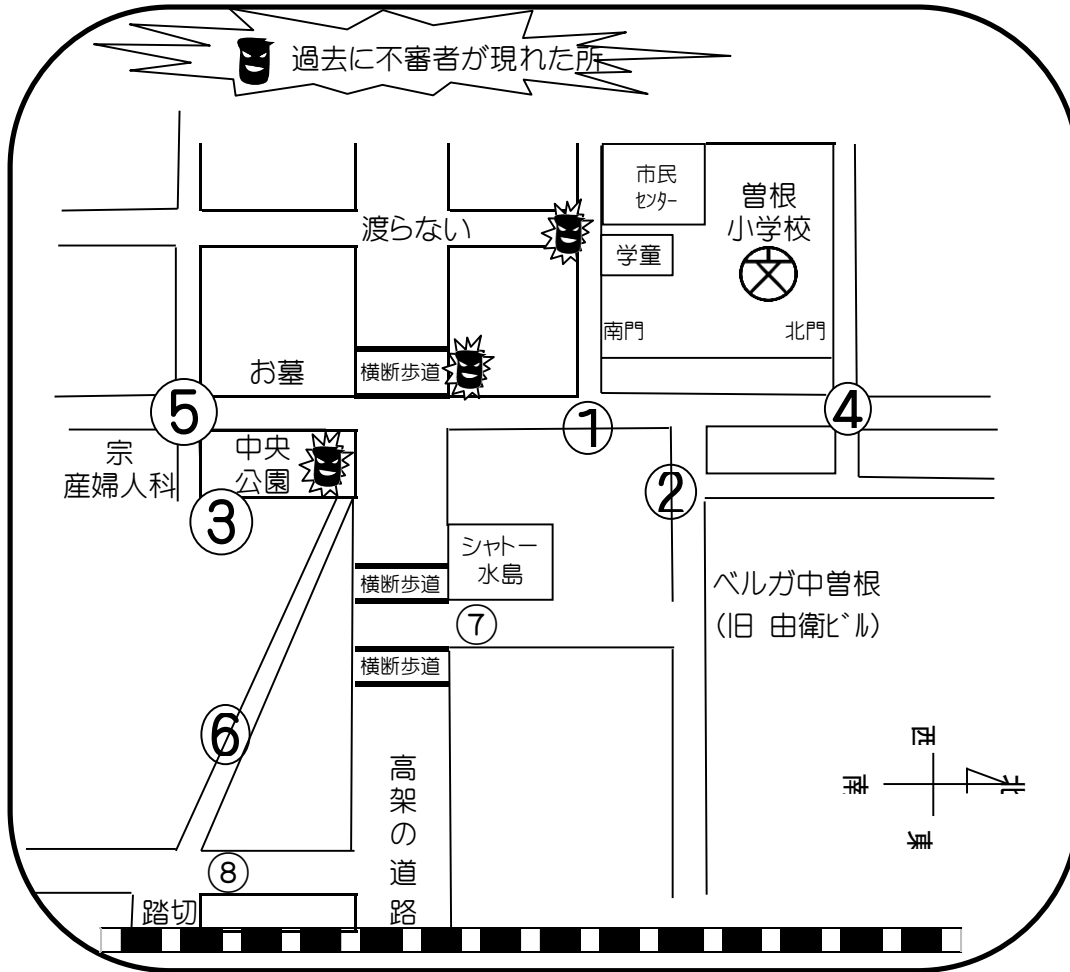


曾根小学校 PTA

# 目 次

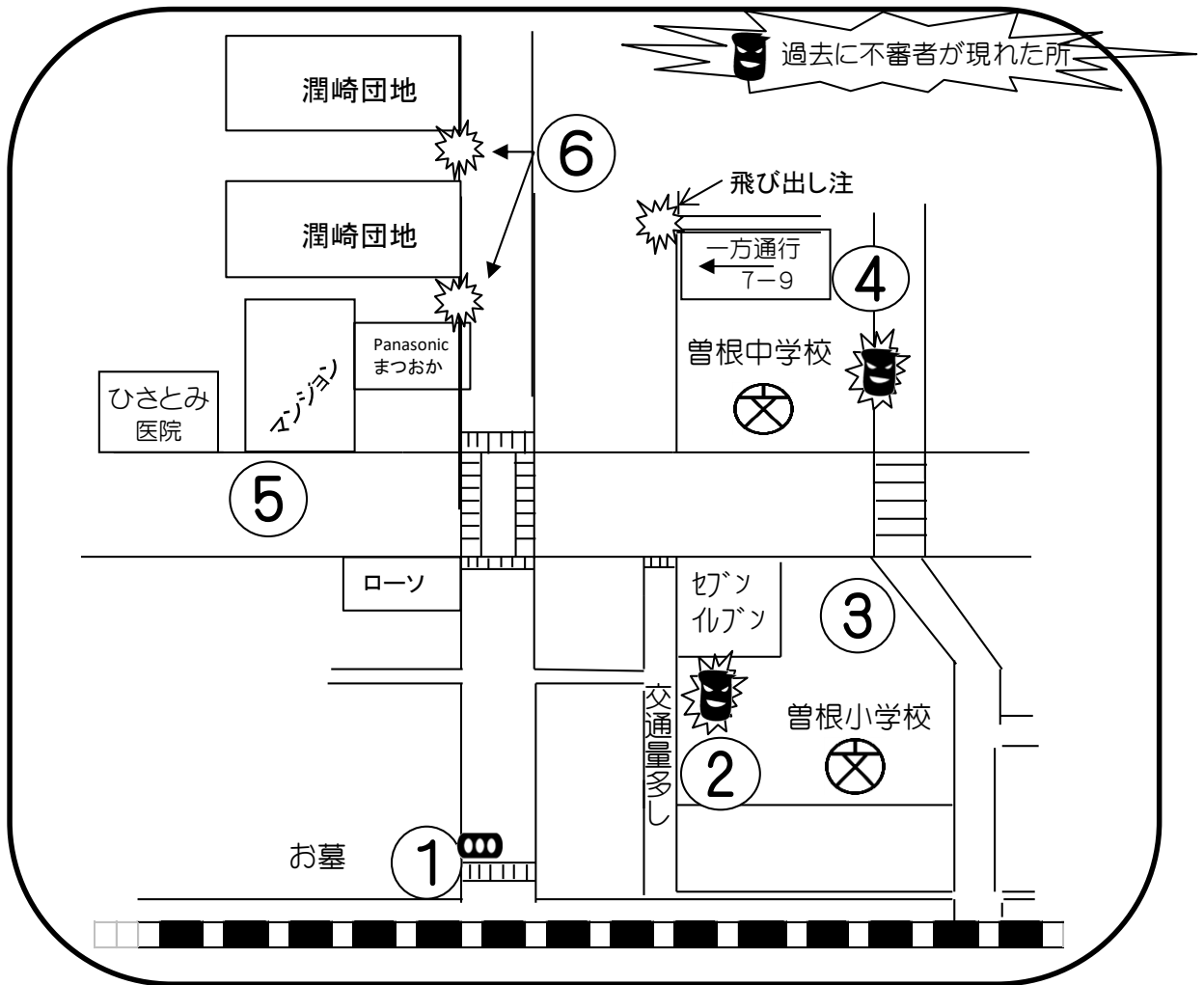
- p.1 ベルガ中曽根(旧由衛ビル周辺)
- p.2 曽根小学校周辺
- p.3 曽根郵便局・ひまわり公園周辺
- p.4 貫川周辺
- p.5 ハローデイ周辺
- p.6 貫交差点周辺

## 【ベルガ中曽根(旧由衛ビル周辺)】



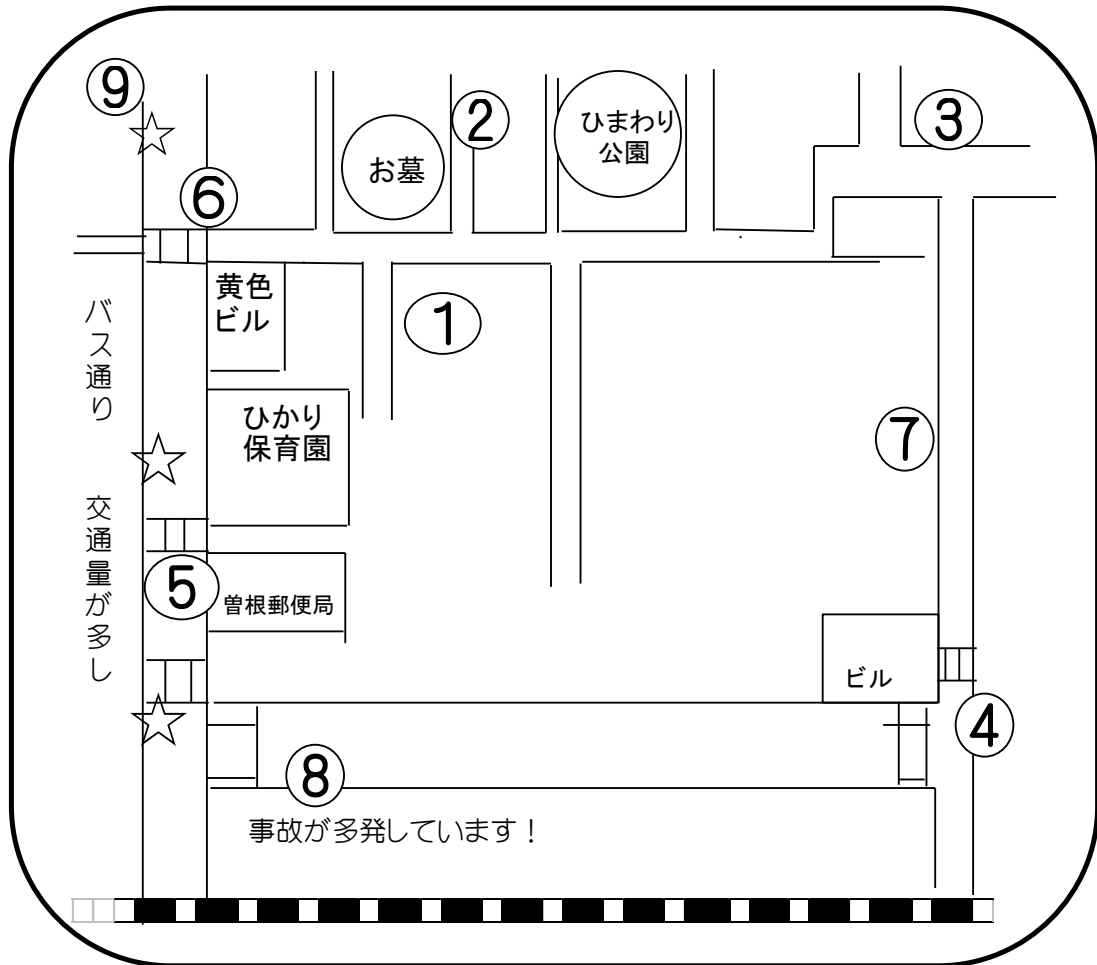
- ① T路地周辺は道幅が狭く、登下校時には注意が必要。  
T路地では必ず一時停止をして、左右確認をする。  
お墓の前を通る時は白線内を一列になって歩くことを指導してください。
- ② 車の通行は少ないが南北の路地から②に出る時には確認をする。
- ③ 中曽根中央公園は遊んでいる子どもがいないときが多く、また住宅が建ち公園内が見えにくくなっている。一人や子どもたちだけで行くのは危険。
- ④ 民家の壁で車や自転車が見えない。車からも歩行者の確認がしにくい。特に南から北に上る車は右からの歩行者は見えない。一時停止をして左右確認、飛び出さないように指導してください。
- ⑤ 道路の整備により交通量が大変増えた。小さな四つ角であるが民家の壁で車から子どもが見えにくい。一時停止をし飛び出しをしない指導をしてください。  
車同士の離合もあるので注意。
- ⑥ ゆるやかなカーブだが、道幅の狭い道路。車から子どもが見えにくいスピードを出す車もあるので危険。
- ⑦ 自動販売機があり、駐車場から出てくる車の確認がしにくい。通行時は注意する。  
また、通学路としてはこの横断歩道は利用せず、お墓の横の横断歩道を使うようにする。
- ⑧ 高架側からの路地と踏切側に出る角。見通しが悪い。交通量も多いので注意すること。

## 【 曽根小学校周辺 】



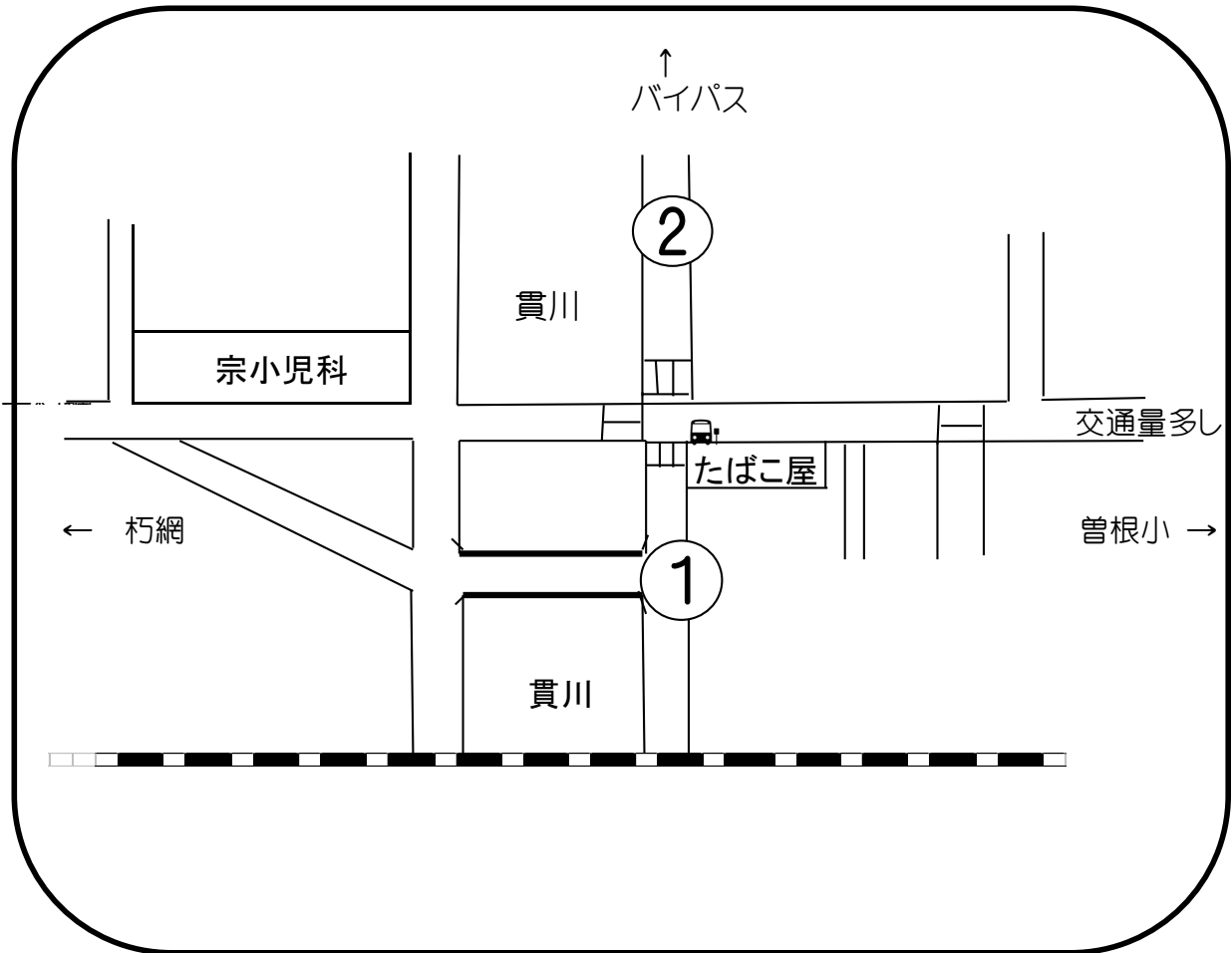
- ① 新しい道路ができて、スピードを出している車が多い。  
信号のない横断歩道もあります。必ず信号機付横断歩道を渡り、  
しっかり安全確認するように子どもたちには指導してください。
- ② グラウンド側の南門通り。道幅が非常に狭く、離合場所はないが交通量は多い。子どもたちには、グラウンド堀に沿って歩道(緑色の部分)を  
一列で歩くように指導してください。
- ③ 体育館側の西門。登下校時は子どもの数も多くなるので、  
信号待ちの時に車道に出ないように注意が必要。
- ④ 朝は住宅街方向からの一方通行だが、車が出てくるのが見えにくい。
- ⑤ 歩道沿いの病院の駐車場。下校時間、車の出入りが多いので注意。  
(バックで出てくる)
- ⑥ 団地側から大通りに出て来る車やバイクなどに注意。停止線を越えて前  
に出て来るので危ない。

## 【 曾根郵便局・ひまわり公園周辺 】



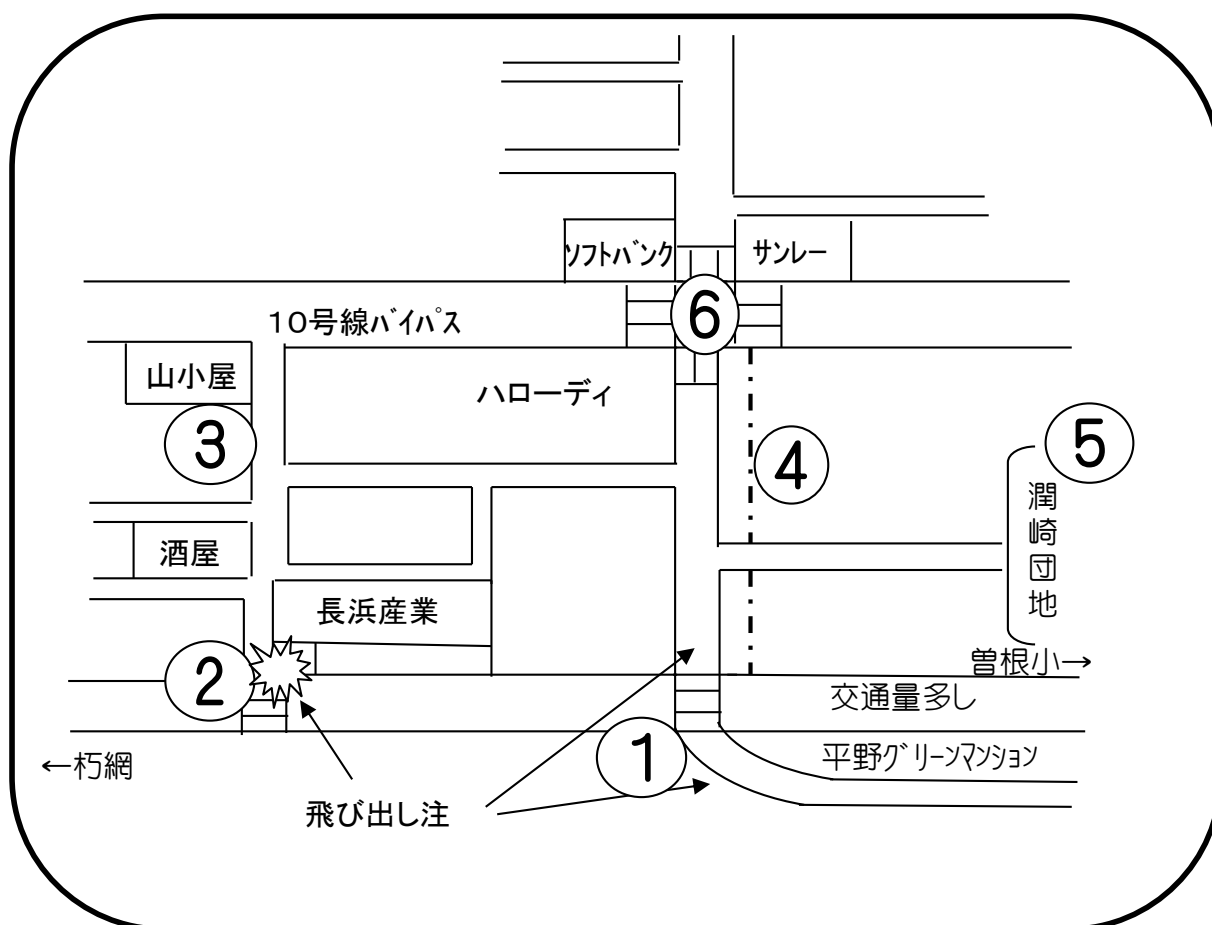
- ① 緩やかなカーブの道だが、スピードを出している車が多い。
  - ② 子供が川に落ちた事例があります。近づかないようにしましょう。
  - ③ 道がカーブしていて見通しの悪い坂道。朝は特に交通量が多い。
  - ④ 信号機のない横断歩道。車がきちんと停止しないことがあり、停止線も消えていて危険。止まって、車を確認して渡りましょう。
  - ⑤ 郵便局の出入りの車が多い。ひかり保育園前は、押しボタン式信号
  - ⑥ 信号機のない横断歩道。朝は特に交通量が多い。一旦停止があるが、見通しが悪く危ない。
  - ⑦ 川があり、一部にガードレールなど、柵もないので落ちそうで危ない。近づかないようにしましょう。
  - ⑧ 交通量が多く、事故も多発している。歩道が途中で、一部きれて危険。
  - ⑨ カーブが多く見通しが悪い。交通量も多く、スピードを出す車が多いので危険。
- ※ ☆の横断歩道は、登下校時は通りません。

## 【 貫川周辺 】



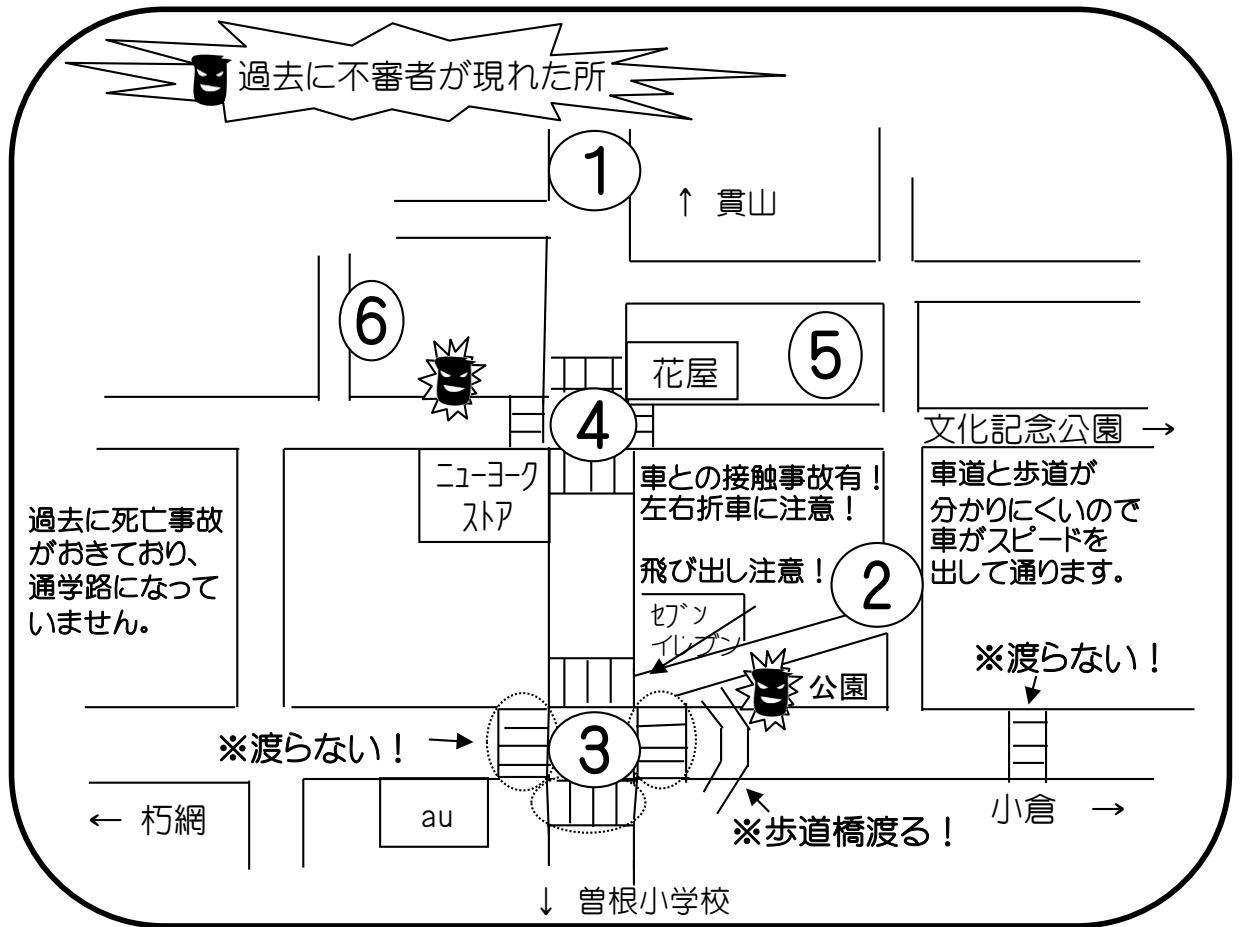
- ① 車が一台ずつしか通れない橋。車は橋の入り口付近で停まっていることも多い。
- ② 貫川沿いの道路はきちんとした歩道がなく、道幅も狭いところがあり、歩くには危険な箇所もある。バイパスと旧10号線の抜け道として車もよく通る。人通りも少ないので、子ども一人で通る時は特に気を付ける。
- ※ この地域になると少人数で帰る子どもが多くなると思うので、なるべく大通りを通るように指導してください。
- ※ たばこ屋の角にバス停がある。バスが停車している時、バスの後続車がバスを抜かすこともあるので、バスが停車している時の横断は特に気を付ける。
- ※ 貫川は水門が閉まっている時は水深がかなり深い。水の事故を防ぐために泳がない。釣りをする際には大人と一緒にするように。

## 【 ハローディ周辺 】



- ① 押しボタン式の信号機のある横断歩道。下校時に通る押しボタンは、民家の壁ギリギリに設置されていて、歩道もなく、登下校する児童も交通量も多いので車道に出ないように注意が必要。
- ② 角の民家の壁が死角となり、ハローディ側から来る車には歩行者や自転車が見えにくいので、必ず一時停止をするように指導してください。  
※近年、事故があった場所です。
- ③ 酒屋前の道。緩やかなカーブで見通しが悪く店舗の出入り口もあり交通量も多い。(大型車も含む)歩道もなく、車道に出ないように注意が必要。
- ④ 用水路にフタがない。道幅も狭いが車の通りは多い。  
用水路に下りる所もあり、夏場に用水路で遊んでいる子どももいます。  
(梅雨どきなど水かさが増え要注意・用水路での水遊びは禁止！)
- ⑤ 旧家の中をくねくねした細い道が続き、潤崎団地の方に抜けられる道があるが昼間でも人通りが少ない。
- ⑥ 半感应式信号なので車がたくさん止まっていることが多い。  
信号が変わりかけたときに車がかなりのスピードで走ってくる。  
(10号線を渡る横断歩道は、通らないようにしています。)

## 【 貫交差点周辺 】



- ① 曾根小学校区で学校から一番遠い地区となる。  
歩道は整備されているがなるべく一人で帰らないような注意が必要。
- ② セブンイレブン前道路。  
狭い道だが、買い物客や回り道としての交通量が多い。
- ③ 大きな交差点なので、信号が変わっても車が通ることがある。横断歩道上に赤信号の車が停まることもあります。必ず歩道橋を通るように指導してください。車との接触事故がおきています。  
(点線囲みの横断歩道は登下校時は通りません!)
- ④ ニューヨークストア横の交差点。交通量が多く、青信号で横断中であっても右・左折車が進入してくるため、左右確認をし、注意して渡る必要がある。
- ⑤ 貫郵便局前、文化記念公園方面車道。車道が狭く、歩道がないため、歩行時一列で歩くなどの注意が必要。
- ⑥ 住宅街からの抜け道として通学路に使用している子どもたちが多く、自動販売機に立ち寄る車も多く、停車中の車の脇より児童が出てくるかたちとなり、非常に危険!